

島川七石君作  
八幡白帆君畫

# 悲哀罪

全二册  
美術木版口繪挿入  
各一册實價五拾錢宛  
送料二册二付金八錢

奇怪なる犯罪事件である。帝都劇壇の花とた、へられし、佳麗妙齡なる一女優の手によつて世にも恐るべき殺人の大罪が犯されんとした、其裏面には、必ず何か陰れたる大なる秘密が無ければならぬ。そも犯罪の動機は何、戀か、嫉妬か、否、戀にあらず、嫉妬にもあらず、其處に同情の涙を澀かしむる悲痛凄慘なる、且美しき物語があるのだ。

江見水蔭君作  
八幡白帆君畫

# 三怪人

各册共木版  
極彩色密畫挿入  
全四册各一册  
實價金四十五錢宛  
送料四册二付八錢  
但シ内地限り

怪賊の一團あり、其行動の幻奇妙怪なる、實に神沒鬼出にして、暮顯朝晦捕捉するに難く、而其犯行の陰險兇猛なる、空前未聞の深刻惡辣を極め、近時有名なりしデゴマ、ボンノ一の徒輩をして、遠く三舎を避けしむる程である、彼等を獲んが爲に我探偵界の巨人は、如何に戰慄すべき惡争苦闘を経たか、其處に讀者の心血を衝動すべき、骨を列り肉を刻むの痛快壯烈なる消息がある、此怪奇絶妙の事實を寫すに、老巧練熟せる水蔭先生の靈筆をもつて、洵に稀に見る近來の活小説であると隆文館の主人が敢てお奨めをする。



渡邊默禪君作

口繪 歌川國松君  
執筆 谷洗馬君  
者 鈴木錦泉君

川上恒茂君  
長谷川小信君

口繪挿入美本  
艷麗極彩色

# 千里眼

## 日本新聞 揭載小説 横山花子

全三冊二付  
實價一圓四十錢  
(送料共にて)  
全一冊二付  
實價金一圓  
(送料共にて)

本書は日本新聞に連載して大好評を博したる事實小説にして、今を去る二十餘年以前江州に現はれたる、横山花子と云へる可憐の美人が、神通自在の術を弄して魔法使ひとして驚嘆されたる幻怪奇譚の事實を寫したるものなれども、其裏面には悲惨骨を剝り肉を刻むの消息がある彼女の父は東京府の參事片桐義郷、母は柳橋で嬌名を唄はれし梅吉、しかも薄命可憐なる花子は、僅に三歳、父母に生別してより以來、流離飄零具に辛酸を嘗め、遂に或る動機の捉ふる所となり了して天下の珍たる其身を捧げて蒼波渺茫たる琵琶湖上に奔り去る、其生涯二十餘年の経路を寫す間に、靈と肉との戦ひ、個人と社會の葛藤の如何に險惡峻烈なるかを説きたる、默禪先生最も得意會心の作にして、其筆力は艶麗にして繪を見るが如く精巧に、其内容の千波萬波寄せ來つて波瀾重疊の妙を極む、乞ふ一讀して其言の颯らざるを知られよ。

大阪毎日新聞 記者 橋詰善郷君序

# 無資本 最新實業成功法

(四六版二百六十四頁)

實價一冊  
四十錢  
送料一冊  
六錢

附錄 「商工職業便覽」及「資金收益對比」

## 金儲 一番の 近道

僅少の資金、それをば巧妙にソツの無いやうに活用して、最も早く、最も大なる實益を收めやうと思はれる人士は、速に、本書に就いて研究せられるが好い、本書は、能く何人に於ても實行を期し得らる、有利的確なる幾多實業の種類と、堅實にして活教訓的なる幾多の實例を列舉して、以て無經驗者に、實業成功の最捷徑を指示して、致富の手段と其要訣を説く事、頗る懇切に、且つ極めて詳密であるから、其志ある人士に取つては、真に無類の好参考書である、



諸實業力清六氏題字

# 奮無資 闘資 成功家實歷

四六版紙數三百二十餘頁

實價一册四十錢 送料一册六錢

附錄

現時日本に於ける百萬圓以上資産家一覽

本書は最新實業家立志編なり

確に金に なる法に 學問の活法

僅々數十年の間に、蓄積し得たる財産幾千萬と噂されて居る、安田、澁澤、古河等の諸金傑でも、決して金の生る樹を持つて生れたのでも無ければ、戎大黒天の申し子といふ譯でもない、澁澤氏は元藍玉の小商人で、古河翁は豆腐屋の小作、安田氏の如きは玩具商の素丁稚から成り上つたのである、然らば彼等成功者は、如何なる手段方法にて、能く今日の富を獲得したか、ツマリ、異常の努力と最善を盡した奮闘の結果に他ならぬのである、が諸氏が今日の大を成し得るまでには無論、逆境に苦む事もあつた、難關に艱む事もあつた、其波瀾曲折多き半世の實歴こそ、實に血と涙に満ちた、興味深き活きたる小説であつて、其處に後進の業大成すべき幾多の價値ある活教訓が含まれて居る、本書に輯むる所は、最新實業の人士に取つては、眞に無上の良師友である。



277  
466



終

